

# 心電図チェックシート

## 1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

## 2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

## 3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

## 4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上  
深さがR波の高さの1/4以上ない

## 5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

## 6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm  
胸部誘導10mmで未満の陽性波

## 7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

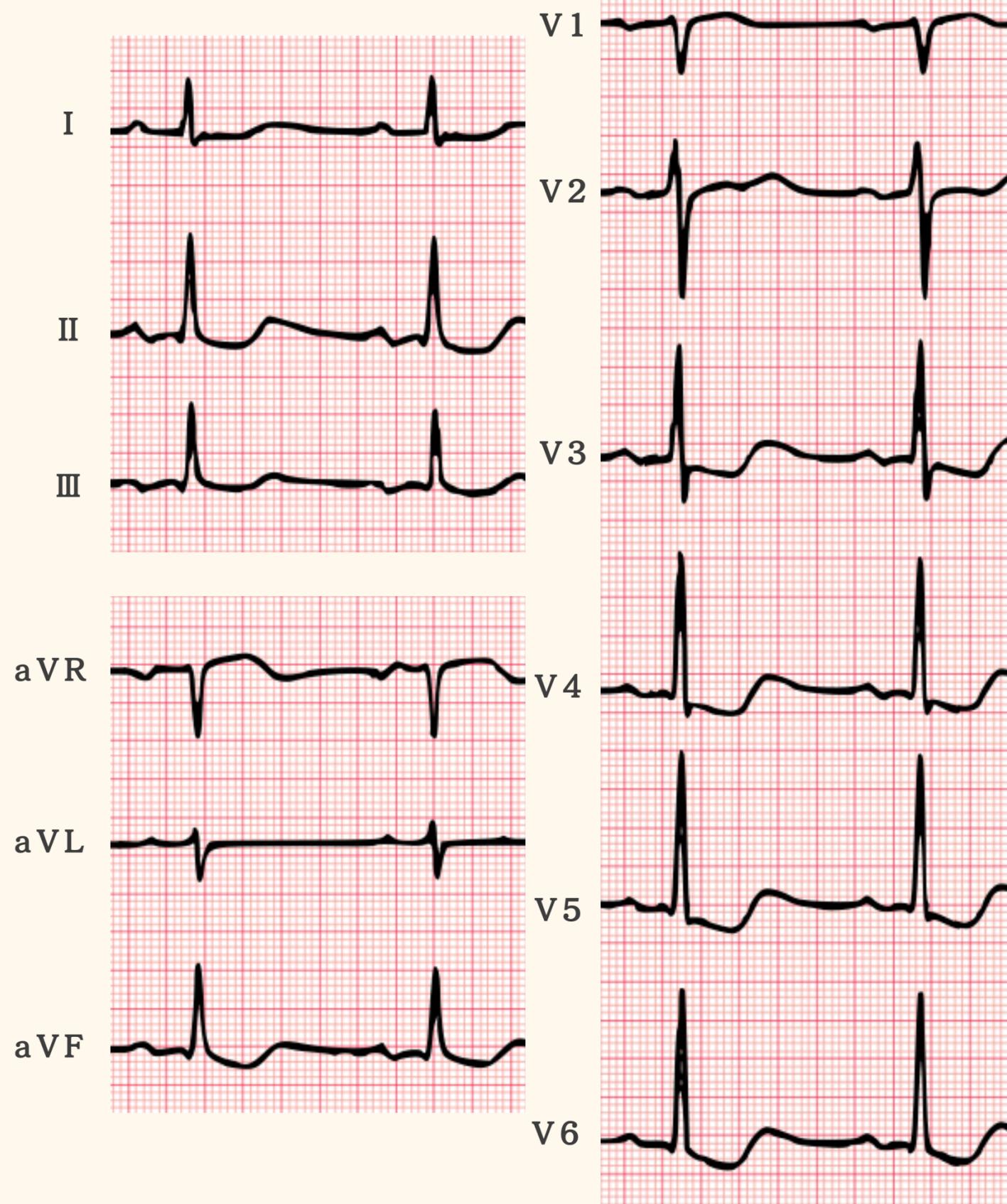
## 8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

## 9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

慢性心不全のため外来通院中の70歳代男性



# 心電図チェックシート

## 1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

## 2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

## 3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

## 4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上  
深さがR波の高さの1/4以上ない

## 5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

## 6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm  
胸部誘導10mmで未満の陽性波

## 7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

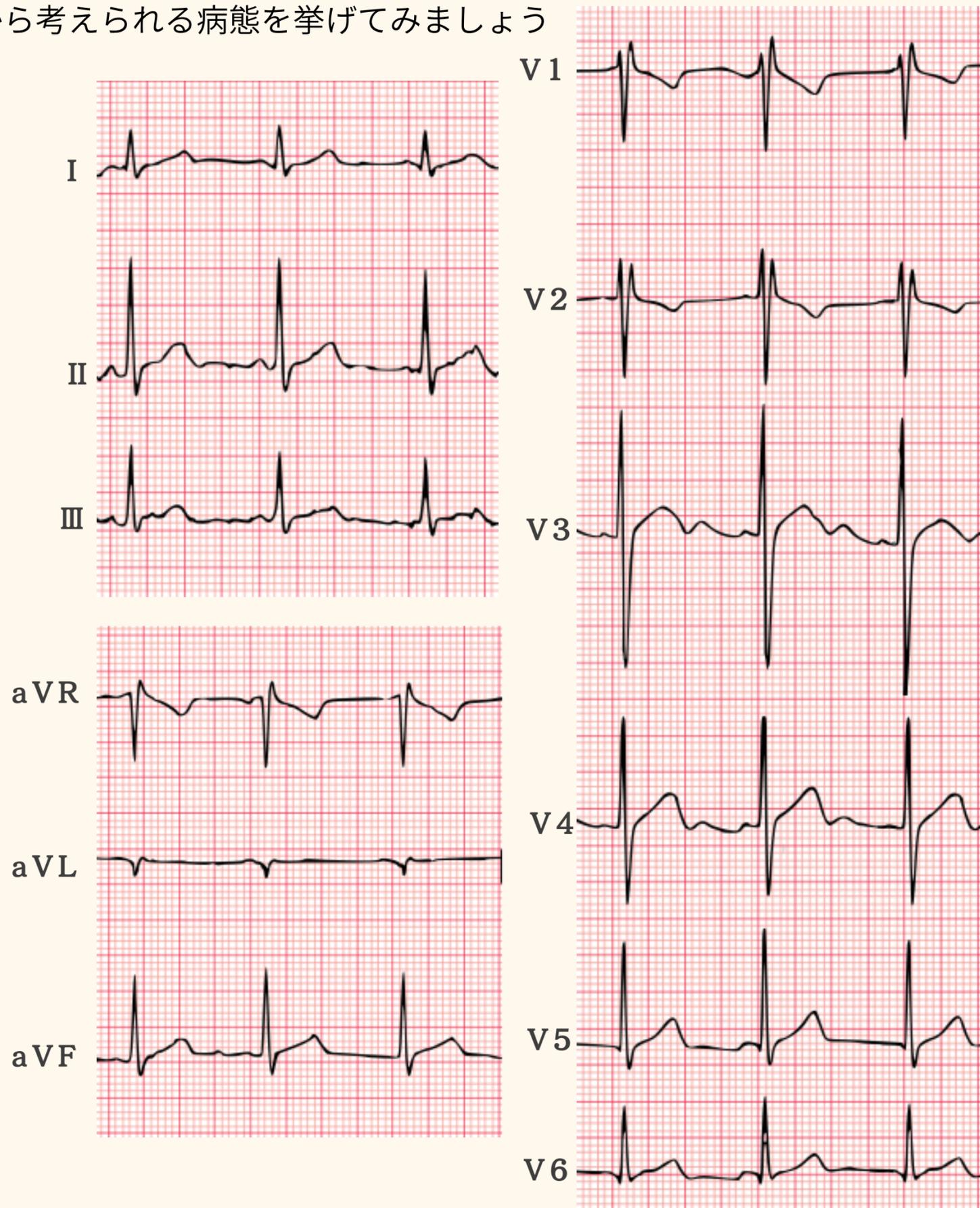
## 8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

## 9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



# 心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

## 1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

## 2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

## 3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

## 4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上  
深さがR波の高さの1/4以上ない

## 5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

## 6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm  
胸部誘導10mmで未満の陽性波

## 7. QT間隔の評価

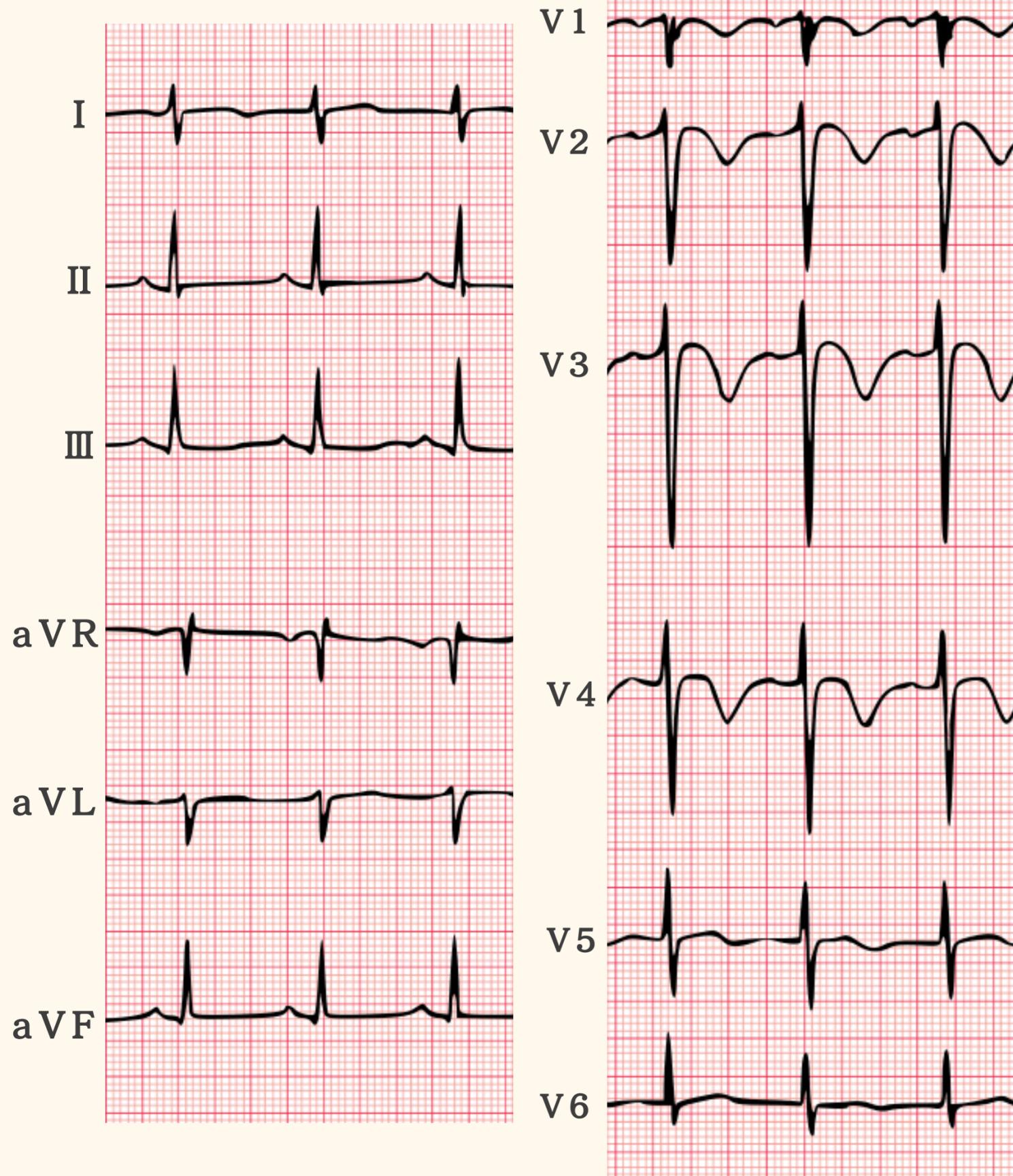
- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

## 8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

## 9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



# 心電図チェックシート

60歳男性。胸痛を主訴に来院

## 1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

## 2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

## 3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

## 4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上  
深さがR波の高さの1/4以上ない

## 5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

## 6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm  
胸部誘導10mmで未満の陽性波

## 7. QT間隔の評価

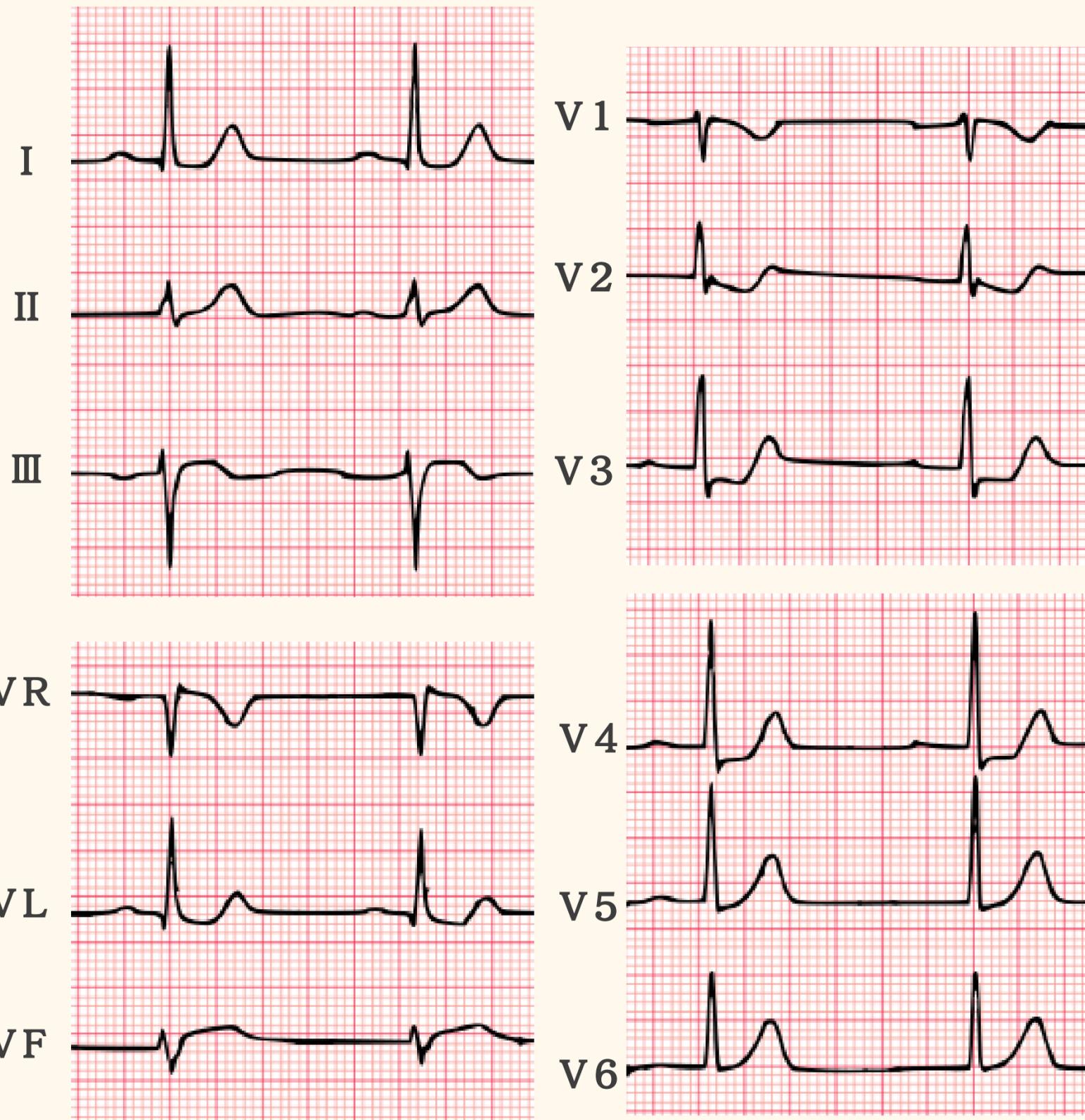
- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

## 8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

## 9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



# 心電図チェックシート

## 1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

## 2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

## 3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

## 4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上  
深さがR波の高さの1/4以上ない

## 5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

## 6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm  
胸部誘導10mmで未満の陽性波

## 7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

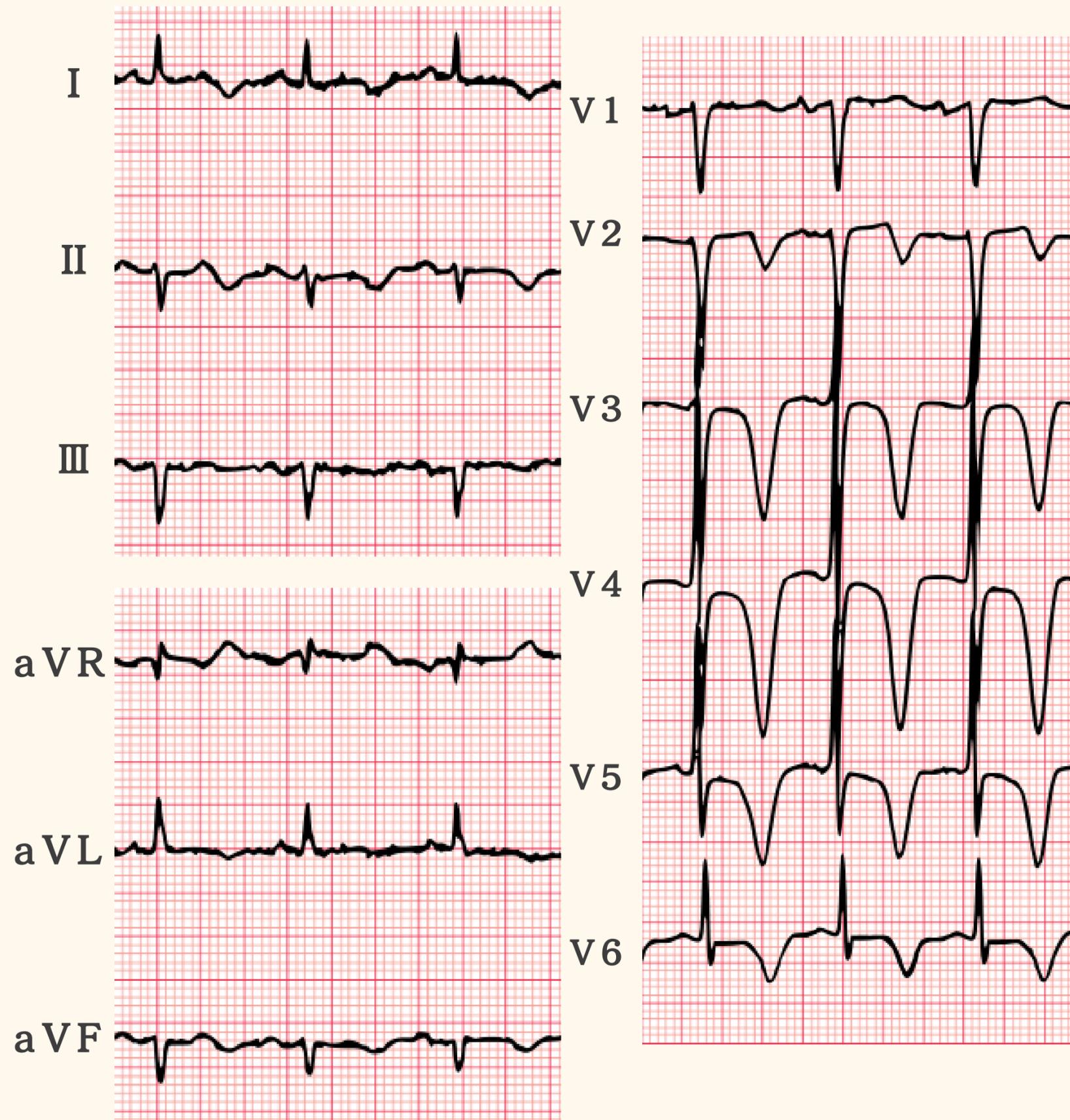
## 8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

## 9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



# 心電図チェックシート

30代男性。健診で心電図異常を指摘され、精査目的で来院。  
無症状だが、叔父に突然死歴があるという。

## 1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

## 2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が  
横幅と深さを掛けて1以上ない

## 3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

## 4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上  
深さがR波の高さの1/4以上ない

## 5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

## 6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm  
胸部誘導10mmで未満の陽性波

## 7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央  
の基準線を超えていない

## 8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

## 9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転した  
ところが、V3~V4誘導である

